

テニス肘、ゴルフ肘の痛みで モヤモヤ血管への動注治療を検討されている方へ

テニス肘やゴルフ肘の痛みの治療として、朝来ふじい整形外科クリニックは「動注治療」という特殊な治療を行なっています。

この治療はオクノクリニックの奥野先生によって 2014 年に開発されたものです。当院ではオクノクリニックとライセンス契約を結び、この治療を行っています。

この治療は 5 分から 10 分ほどで終了する治療法です。肘に局所麻酔をして、点滴で用いる 細いチューブを動脈という血管内に挿入し、そこから抗生物質でできた粒子（一時的塞栓物質）を投与する方法です。チューブは点滴に用いるもので非常に細く、5 分ほどの短い圧迫だけですぐに帰宅することが可能です。動注した当日のシャワーや入浴は制限なくお入りいただけます。

チューブから薬剤を流す際に、前腕や手のひらなどと順番に薬剤が広がっていきます。

薬剤が各部位に届いたときに、「熱い」や「ピリピリする」などの違和感や軽い痛みがある場合がほとんどです。これは短い時間の一時的なもので全く問題ありませんのでご心配なさらなくてください。また、薬剤の届いた部位の肌の色が変化しますがこれも一時的な現象です。

また 効果が出にくい人の特徴は、不安や抑うつスコアが高い人、日々の肘への負担が強い人、糖尿病、甲状腺疾患の既往のある人、肘の手術後の患者さん、ステロイド注射を 3 回以上受けている方、体外衝撃波の治療を他院で過去に受けられた方などが挙げられます。

また、肘の内側の痛み（テニス肘ではなくゴルフ肘と呼ばれる、正式名称は内側上顆炎）では治療後に痛みの改善が遅れます。治療後 2 か月は全く痛みが変わらないのが普通です。その後、痛みが改善するという人が多いです。

動注治療をご希望される方は、別紙（説明・同意書）に挙げた副作用の可能性についても説明を受け、ご理解いただいたうえで、受けていただきますようお願いいたします。